



学校教育目標

「夢をいただき、強くたくましく生きる子どもの育成」

～日々新たに、地域と子どもの未来に向かって～

令和元年12月25日 No.19

文責 校長

2学期終了！ ～明日から冬休み～

明日から19日間の長い冬休みがスタートします。修学旅行・マラソン大会・閉校記念式典・だまこ鍋交流会・ネギの販売、授業研究会など、大きな行事が続いた2学期も、いよいよ終わります。

これらの行事を友達と一緒に楽しんだり、準備や練習に努力したり、緊張の中で一生懸命発表したりした経験が、児童一人一人の大きな力になったことと思います。

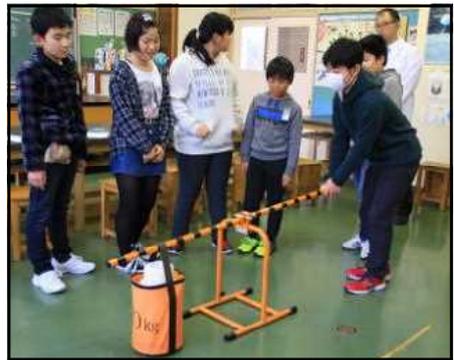
保護者や地域の皆様には、日々ご協力・ご支援いただき、本当にありがとうございました。

また、冬休みは新しい年を迎える時期です。大掃除、大晦日、お正月等、日本の生活習慣を家庭の中で学ぶ機会でもあります。家族とのふれ合いの中で、多くのことを学んでくれれば幸いです。

児童の健康や安全面で一層のご指導をお願いいたします。1月14日(火)に全員元気に登校し3学期を迎えたいと思います。

どうぞよい年末・年始をお過ごしください。

※右の写真は 2学期末PTA授業参観のものです。
上段 2年3年国語 下段 6年生理科



青少年読書感想文コンクール

- ・ 郡市入選 1年 清水万理恵 「コタロウがおしえてくれたよ」
- ・ 郡市入選 3年 清水良太 「大切ないのち」
- ・ 郡市入選 4年 三熊遥斗 「大切な人へ思いをとどけるために」

年刊詩集 たろっぺ

- ・ 佳作 1年 しみず まりえ 「カナヘビのカマちゃん」
- ・ 佳作 1年 みくま ももか 「さつまいもほり」
- ・ 佳作 2年 大森 羽海 「まけてくやしかった水えい記ろく会」
- ・ 佳作 2年 三熊 日南乃 「はじめてやったネギの販売」
- ・ 佳作 3年 大高 優芽 「さい高の思い出の日」
- ・ 佳作 3年 清水 良太 「たいへんだった入院」
- ・ 入選 4年 佐藤 英 「最高のアトラクション」
- ・ 佳作 4年 淡路 大心 「がんばったネギ販売」
- ・ 佳作 4年 三熊 遥斗 「うれしかったネギ販売」
- ・ 入選 5年 荒木 汐音 「ナレーターのっこみ」
- ・ 佳作 6年 須合 愛萌 「思い出に残る発表」

※入選作品は能代山本教育研究会国語部会年刊詩集「たろっぺ」に載ります。

健康優良児表彰

- ・ 能代市山本郡学校保健推進優良児童 6年 須合愛萌

裏面もあり

閉校記念式典 児童代表あいさつ文（紹介）

朴瀬小学校がなくなる、ということが決まったのは、ぼくが3年生のときでした。統合に向けての話合いをしていることは知っていたので、聞いたときには「やっぱり・・・」と、さびしく感じたことを覚えています。確かに、統合することによって、たくさんの人たちと関わりながら勉強したり、遊んだりすることができるといふよさはあると思います。しかし、小さい学校ならではのよさがなくなってしまう、ということも残念に思ったのです。

前向きな気持ちと悲しい気持ちがまざったまま、ぼくは6年生になり、朴瀬小学校ラストイヤーに向けてのテーマを決めることになりました。みんなで話合いをしていくうちに、悲しい気持ちは確かにあるけれど、未来に向かって切り替えていくことも大切だと思うようになりました。つまり、終わりではなく、新しい始まりなのです。

そして、決まったラストイヤーのテーマが「朴小の誇りを胸に 全力笑顔で残せる思い出」です。朴瀬小学校の児童であることに自信と誇りを持ち、朴瀬小学校が最後となるその日まで、笑顔を忘れず、23人全員ですばらしい思い出を作っていこう、という気持ちが込められています。

これまで、3332人が卒業し、ぼくの父も、祖父も、曾祖父も学んだこの朴瀬小学校は、すばらしい学校です。みんなが家族のような仲のよさ、全校でできる体育の学習やチャレンジタイム、地域の方々から支えていただきながらの行事や農園活動、さらに、明治から続く伝統ある歴史など、たくさんの人たちが築き上げてきたものです。来年から、通う学校が変わるだけで、朴瀬小に関わる全員が大きな家族であることに変わりはありません。

ぼくたち23名は、144年の歴史を飾る最後の児童として

朴瀬小学校の児童であったという「誇り」

大志強健の教えのもとにきたえた「力」

地域の方々や先生方からいただいた「恵み」

新しい未来に向かっての「望み」

この4つを大切に、がんばっていきます。

ぼくたちに誇りと力、恵みと望みをくれた朴瀬小学校、本当にありがとう！

そして、さようなら！



令和元年11月10日
児童代表 6年 三熊 健太



【児童によるアトラクション】



【記念碑の除幕式 校歌斉唱】